

令和4年度 第2回 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和4年10月24日 (月) 午後2時00分から午後3時30分まで

場 所 鎌ケ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、菊地謙委員、渡辺浩隆委員、田島徹子委員、篠田紫織委員、多田康一郎委員、吉田鈴美委員、渡邊輝江委員、岩橋直也委員、山本幸子委員、高木由美子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、會澤奈穂子委員、森井真理委員、林宏幸委員 (鎌ケ谷市社会福祉課長)

関係者 杉浦達夫 (障がい者の働くを支えるチームサブリーダー)、加藤有子 (ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富)、倉持由美子 (ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富)

欠席者 向井智之委員、西出信夫委員、勝又和久委員、館岡文委員 (鎌ケ谷市健康増進課主幹)

事務局 【障がい福祉課】星野障がい福祉課長、高橋奈帆子庶務係長、稲葉もも主任主事【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・令和4年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・資料1 日中サービス支援型共同生活援助における協議会の報告・評価について
- ・資料2
 - 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 チーム参加者一覧
 - 令和4年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会の年間スケジュール (全体・実績)
 - 事業所情報シート
 - 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム「通学・通所に関するアンケート調査」結果報告
 - 鎌ケ谷市障害者自立支援協議会 支援者向けフローチャート (案)
 - 事例記入シート
 - 障害平等研修 実施要領 (案)
 - 障害平等研修チラシ
 - 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム フローチャート (案)
- ・五本松小学校区防災訓練チラシ

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数 (16名) が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

<委嘱状交付>

障がい福祉課長から鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）委員の2名に委嘱状を交付した。続いて委員の自己紹介を行った。

日中サービス支援型共同生活援助における協議会の報告・評価について

事務局より「資料1 日中サービス支援型共同生活援助における協議会の報告・評価について」について説明した。年1回以上の評価を行う必要があるため「令和4年度第2回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会・意見提出票」の提出をお願いした。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富より「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告に関わる報告・評価シート」について説明した。

会長

ただいまの説明について要望や助言または質問があればお願いしたい。

委員

調理や買い物等は、利用者全員が出来るものか。買い物は利用者1人に対して職員1人がついていくのか。運動の時間等、プログラムがきまっているか。職員7名となっているが常駐しているのか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

人によってできる事とできない事があるので、それぞれに合わせている。買い物も複数で行ける方もいれば行けない方もいる。プログラムはある程度は決まっている。運動は利用者の体調をその都度確認して行っている。平日の常駐は2名、土日は10名程度。

委員

地域に開かれた運営について、家族との面会は事前連絡が必要か。家族と一緒に外食したりできるのか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

家族は事前連絡が無くても面会可能。一緒に食事をしたり、外食したりするのも可能。

委員

短期入所の実績人数を教えてください。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

定期利用者1名。その方が利用しているときは緊急の受け入れができない。

会長

生活支援員等、職員の募集はうまくいっているか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

職員募集には苦労している。定着も難しい。男性を募集しているが待遇面の折り合い等から苦戦している。

委員

現在、男性の生活支援員は何名か。令和2年度に入浴介助等の同性介助の原則から男性職員を増やすよう協議会より要望したが、改善が見られなかった。そのため令和3年度に人員配置計画案の提出をお願いしたが、人員配置計画案はどの様になっているか。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

鎌ケ谷ではない他のホームで男性職員に少し問題があったこともあり、当初は女性で人員数を充足していたため男性を採用することができなかった。現在は1名いる。

人員配置計画案を提出しなくてはならないことを知らず作成していない。

事務局

人員配置計画案については、男性職員の配置状況がよく分かるように作成し、提出してほしい。

会長

委員の皆様には、11月4日までに「令和4年度第2回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会・意見提出票」を提出してほしい。記載いただいた要望や意見等が協議会の評価となり、意見等がない場合には適正な運営を行っているという評価になる。

地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告及び提案について

事務局より「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会地域連携部会テーマ別チーム」について説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

地域連携部会長

前回の協議会にて、令和4年度のテーマ別チームを引き続き6チーム体制でいくことが承認され、7月より新たなメンバーで活動を開始した。各チームより活動状況について報告をお願いしたい。

障がい者の働くを支えるチーム

「各事業所情報シート」を活用する対象者について議論し、市内の就労系事業所で働く職員および市内の事業所に通っている利用者を対象とすることとした。活用できる資料となるように、引き続き項目の追加等を精査し更新していく。

地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

地域資源で最も不足している通学等に利用できる送迎サービスについて「通所・通学に関するアンケート調査」を実施した。この調査結果を精査し、ポイントを絞って提案を考えていく。次回のチーム会議では、ファミリーサポートセンターの方を迎え、送迎サービスの担い手側の意見を聞かせていただく。

障がい者のつながりを支えるチーム

次回11月の会議でチームリーダーを決め、2年前に作成した「支援者向けフローチャート（案）」を精査する等、具体的な今後の方針を話し合っていく。

障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

支援者側が障がい者の方の思いを本当に理解できているのかという潜在的な問題を考え、より良い支援につなげるため、市内の事業者に従事している方々向けに「障害平等研修」を実施する。12月17日（土）13時から16時、南部公民館にて実施する。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

地域と医療機関との連携がテーマであり、2つのフローチャートを作成する。

- 1、医療機関に繋がっていない地域の方を医療機関に繋げる
- 2、医療機関を退院して地域へ戻ってくる方の地域での受け入れ

フローチャート1は既に協議会の本会議で承認をもらっている。精神科病院のワーカーからも意見をもらい医療機関から地域への出口支援について検討し、フローチャート2を作成している。

医療的ケア児支援チーム

医療的ケア児や障がい者の災害時の対応についてリーフレット等を作成したいが、医療的ケア児は対象の疾患や医療行為の個別性が高いため、市民向けのリーフレット等を作成するのは困難である。よってまずは医療的ケア児に対する地域の方の理解を深めること、災害時に支援者側がどう対応したらよいかをまとめたマニュアル等を作成していく。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

地域連携部会長

障がい分野の情報を発信・啓発するチームより、「障害平等研修」の実施および講師謝礼金10万円を協議会の委員研修予算より支出することについて審議をお願いしたい。

異議なし

賛成挙手

その他

事務局より「五本松小学校区防災訓練チラシ」について説明した。

会長 他になければ以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年2月10日

氏名 篠田 紫織

氏名 多田 康一郎